会員企業の声

会員企業の方々と共に作る産学協創教育

物質・情報卓越教育院では、社会サービスの実装を見据え、地球規模の視野を持った、産業界が期待する卓越博士育成のために、会員企業からのアドバイスを教育、イベント内容に反映させています。また、学生の研究成果やグループワークの発表、面談の機会に、会員企業の皆様から学生に直接アドバイスをいただいています。

ご参加いただいている会員企業の声をご紹介いたします。

マテリアルの深い理解とともに最新の情報科学を活用できる人財は、世界の課題解決の立役者としての活躍が期待されます。本プログラムを最大限に活用し、知識を学ぶだけでなく、高い視野で将来を見据えて、社会を牽引する研究者に育って欲しいと思います。そのために、企業が参画するイベントに積極的に参加し、色々な意見を聞き、刺激を受ける事も役に立つと思います。

AGC株式会社

弊社が開発する、「受光」「発光」デバイスは、高度な薄膜技術・材料技術が必要です。これまでのノウハウに加えて、ベイズ最適化など人工知能（AI）を用いて、もっと効率良く、かつ、そこから得られる未知の知見を取り入れることで、性能の向上、新製品開発に活かしたいと考えています。その人材の育成と、同じ方向を目指す意欲のある人材との交流を楽しみにしています。

本プログラムは、学生が日々研究している段階から産学の人材交流を持てる、これまでにない画期的な仕組みと考えています。学ばれる学生の皆さんは、研究成果を上げるのはもちろん、その研究に向かわれる姿勢を恩師より吸収し、是非とも、既知の知識だけでなく、人類未知未踏の領域を開拓する知恵と気概を身につけていただくことを期待しています。

浜松ホトニクス株式会社

鉄鋼の技術開発においても、IoT、にデータサイエンス(DS)、サイバーフィジカルシステム(CPS)と言った情報分野の知識が必要となってきています。卓越大学院プログラムにおける、従来必要とされてきた材料の知識と、情報分野の知識を融合することが、当社の活動を含め、大いに社会に貢献することを確信いたします。

JFEスチール株式会社

社内のDX推進に重要と捉えている、材料科学と情報科学の両方を習得している優秀な学生と、様々なイベントなどで、直接コンタクト出来る点は、大きなメリットであると考えています。本プログラムは、産学の人材交流と新知見獲得が期待できる新規かつ優れた仕掛けと考えます。自身の専門知識を軸とし、他の分野との融合を高い視座から図ることを学ぶことができると思います。履修される学生さんが、日本の未来を拓き、世界をリードする人材となることを強く期待しています。

旭化成株式会社

物質・情報卓越教育院が掲げる「物質×情報＝複素人材」は、まさしくこれからの企業に必要な変革を担う人材です。学生の皆様には、その高度な専門性を活かし、社会に真に貢献していただくことを期待します。その学びの過程で、皆様と様々に交流させていただくことを楽しみにしています。

出光興産株式会社

物質・情報卓越教育院は、社会の潮流変化で求められるBig-Dataの活用にAIを積極的に取り入れ、企業のニーズ・視点を考慮した新しい材料研究の方向を示してくれるものと期待しております。そのカリキュラムの内容は、当社の目指す材料メーカーとしての技術の方向と一致していると認識しておりますので、御講義と先生方、学生さん達との交流を通して、良い知見を得る貴重な機会を頂いていることに深く感謝致しております。

JX金属株式会社

TAC-MI
Tokyo Tech Academy for Convergence of Materials and Informatics

会員企業の声

本プログラムへ参加することで、学生の皆さんが、企業との技術ディスカッション、課題解決の活動を通して、将来、新産業創出を担う人材となり、世界で活躍されることと考えています。加えて、講義やセミナー等に参加し、最先端の教育を受講する機会をいただき、企業という立場でこれまで以上に社会に貢献できると確信しています。
今回のプログラムを通して、チャレンジ精神溢れる学生の皆さんと密度の濃い時間を過ごし、心を通わせながら、ともに成長することができたら幸いです。

京セラ株式会社

21世紀の世界は様々な深刻な問題に直面しており、それらの解決の為には最先端の科学を革新技術に昇華させていく作業が不可欠だと考えています。したがって、これからの研究者には、与えられた課題を解決するスキルがあることはもちろんですが、それ以上に、従来の常識とか固定観念に捕らわれることなく多面的、俯瞰的にものごとを理解し、「おやっ！　なるほど！」と思わせるような特異ではあるけれども理にかなった課題を設定する能力がこれまで以上に重要になっていくと思います。
物質・情報卓越教育院はそういった能力を身につける良質のプログラムが数多く含まれていると思います。次の若い世代の奮闘がなければ世界の中での日本は地盤沈下するしかありません。よく学び、よく考え、多くの経験を積むことのベースをここで作り、将来「あの人はすごい！」と言われるような研究者、企業人が数多く育ってほしいと期待しています。

三菱ケミカル株式会社

本教育院に登録されている学生さんには、20世紀には考えられなかった規模×精度で問題を扱える能力を基盤に、卓越博士として高い視座から明るい人類社会の未来像を描いて、その実現のために必要な新たな価値を物質機能の発現を通して創造できる人材となることを期待します。

三井金属鉱業株式会社

弊社では、圧倒的な競争力を持つ「技術」「素材」の開発と「社会実装」の実現を目指しており、そのためには、本プログラムの、「物質科学と情報科学の融合」「複素人材の育成」はまさに重要な視点です。マテリアルズインフォマティクスやシミュレーション等の最先端の技術をキャッチアップするとともに、社会や産業のニーズを大学と共有化していち早く実現に繋げていくために、この場を活かしていきたいと考えています。
本プログラムにより、専門分野の知識がどのように社会と繋がっていくのかを実感できると思いますので、ぜひ研究の充実に役立ててください。また、弊社も、皆様の新しい発想や、最先端の議論に刺激を受けたいと思っています。

株式会社 カネカ

材料科学と情報科学を融合できる人材の必要性を強く感じており、卓越大学院の学生の皆様には非常に可能性を感じています。
プログラムを通じて皆様及び企業アドバイザーの方としっかり議論し、お互いを高め合って、次代の社会、世界、地球を担っていく人財となっていただきたいと思います。

花王株式会社

技術開発とは、未来の創造です。今学生である皆さんの技術開発がまだ名前のついていない新しい産業や製品を作っていきます。弊社は、「TAC-MI」の掲げる、材料と情報を自在に操り社会のサービスに繋げて考える「複素人材」の育成とは、この新しい世界の実現に大いに貢献する感性と技術を兼ね備えた人材の育成であると考えています。弊社にとって、その主役である皆さんとともに活動できることは喜びであり、来る世界での皆さんのご活躍を心より期待しております。

三菱ガス化学株式会社

TAC-MI
Tokyo Tech Academy for Convergence of Materials and Informatics

会員企業の声

物質・情報卓越教育院のプログラムは、将来のマテリアル革新力の源泉を創出するための重要な取り組みです。日本の理科学計測機器メーカーとしても我が国のマテリアル革新力強化は国際競争力を維持するために必須のことであり、本教育院の目的に賛同して参画しております。
また、当社は科学と社会への貢献を理念に掲げておりますが、物質科学と情報科学の融合分野で活躍する人材を育成することは将来の持続可能発展社会を形成するためにも非常に重要なこととして取り組んでおります。
物質科学と情報科学、あるいは学術界と産業界の垣根を超えた研究プロジェクトを推進できる世界のマテリアル研究の中核として活躍される人材を輩出する拠点になることを期待しております。

日本電子株式会社

Material ScienceとInformation Scienceの研究機能を併せ持つ卓越大学院は、将来の自動車、あるいは社会を変革する新しい技術が発芽し、その研究開発を推進する人財が育つ場として理想的な研究環境です。ここから生み出される研究成果が、少しでも早く製品として実現し確実に社会に実装されるよう、参画企業として社会や産業のニーズに関する情報提供等を含めてさまざまな面からサポートしたいと考えています。
この恵まれた環境の中で研究にたずさわる学生のみなさんには、将来の社会を支えるのは自分自身であるという自負を持って研究に取り組み、世界をリードする技術者としてサステナブルな社会の実現に貢献されることを大いに期待しています。

日産自動車株式会社

材料科学に習熟し、かつ、計算科学、データ科学の知見も有するマルチな人材が、まさに、求められており、卓越大学院での、「物質×情報」というコンセプトでの複素人材の育成に大いに期待致しております。
学生の方々には、卒業後、複素人材として、日本国の産業を更に一層盛り立てていっていただきたく考えます。

パナソニック インダストリー株式会社

本プログラムが提供する実践的な教育カリキュラムにより、大学の最先端の知識や発想が学べることを期待しています。一方で産業界の視点で、大学教育や研究に貢献できることを願っています。意欲ある学生のみなさんと活発に議論できることを楽しみにしています。

日本ガイシ株式会社

セラミックスを含む素材産業は比較的日本が強い分野で、これまでの技術と経験の蓄積で日本がリードを守ってきましたが、経験や勘をデジタルに置き換えるＤＸはその差を解消する脅威になりかねず、我々はMIでもリードを保っていく必要があると考えています。それが当社がTAC-MIに参加するモチベーションです。素晴らしい人材の創出と人的・技術的ネットワークの構築が日本の競争力向上につながるものと信じており、当社もそこに少しでも貢献できればと考えています。
学生の皆様には、世界の科学の発展と日本の産業競争力向上のため、高い志を持って取り組んでいただきたく、当社もそれを応援します。

日本特殊陶業株式会社

社会環境が大きく変化する現在では、データ駆動による研究開発の効率化・高度化が必須と考えており、本プログラムで成長した「情報を使いこなして物質を開発し、新産業を創出する複素人材」が活躍し、次世代を支える立役者になると確信しております。
学生の皆様は、本プログラム修了と共に独創力・俯瞰力・実行力・国際リーダーシップ力を兼ね備えた人材として社会へ羽ばたいていくものと期待しております。充実した環境で大きく成長されることと存じ、時々に弊社参加者からの協力・アドバイス等がお役に立てば何よりです。

住友化学株式会社

TAC-MI
Tokyo Tech Academy for Convergence of Materials and Informatics

会員企業の声

学生の皆様には、本プログラムを履修することにより、物質と情報の両方の視点から研究を行っていただくことで、また、多様な文化や人と交流することで、科学者として一人の人間としてリテラシーを高め、自己実現に向け大きく成長されることを期待しています。そして、「明日の社会に自ら積極的に貢献する」という気概を持った研究者として産業界で活躍して欲しいと思います。

株式会社レゾナック

本プログラムにより我々が向き合う社会課題解決に向けて、共に創造し、解決できる人材が育成されていくものと期待しております。このプログラムに参加させていただくことにより、先生方、学生、参加企業の皆様とともに一緒に学ばせていただき、「共創」を実現したいと考えております。学生の皆様にはぜひ気軽に議論をしていただければありがたく思っております。

セイコーエプソン株式会社

自ら考え行動し創造力と探究心に富んだ物質・情報卓越教育院の皆さんとともに、技術と事業のたゆまぬ進化に取り組んでいきたいと願っています。

住友電気工業株式会社

物質と情報を自在に操る「複素人材」の育成と、次世代エレクトロニクスの発展につながる独自性と高い価値をもった、社会の発展を支える研究開発成果の創出に挑戦するため、物質情報卓越教育院に会員企業として参加いたしております。世界をリードする様な研究開発リーダーの人財輩出に期待しております。

TDK株式会社

この世界を支える最先端電子部品・デバイスの実現に向けた革新的な新規材料の実現は極めて重要であり、データサイエンス的な手法（マテリアルズインフォマティクス）も活用しながら、優れた特性を持つ新材料を効率的に開発する事が必須となります。これらのスキルを持つ物質・卓越教育院で「物質×情報」をしっかりと身につけた人材の重要性は今後も高まると考えております。この場から、自らが積極的に将来の新技術、新材料を作ってゆく気概を持った多くの研究者が育ってゆく事を期待しております。

太陽誘電株式会社

研究者に共通して求められる資質は、新しいことを創出すること、何かを成し遂げることに対する執念、情熱だと考えています。学生のみなさんには、本プログラムを通じて産業界の知見を取り込み、この世に未だない全く新しい価値を創造することで、世界にインパクトを与える研究者へ成長してほしいと思います。

株式会社 東芝

社会要請に迅速に応えるためにはマテリアルズインフォマティックスの導入が不可欠であり、本プログラムへの参加をその契機にしたいと考えています。
本プログラムを受講される学生の皆さんには、材料と情報を自在に扱う複素人材として社会で活躍されることを期待していますし、われわれも皆さんと共に歩みながら成長したいと考えています。

東洋製罐グループホールディングス株式会社

材料科学とマテリアルインフォマティクス（MI）分野に資質のあるπ型人材学生とのネットワーク構築に期待しています。
実験系の学生さんにとってはMIを習得するのは大変かと思いますが、本教育院のプログラムを通じて実験、MIの両方に精通する人材となってください。

東ソー株式会社

TAC-MI
Tokyo Tech Academy for Convergence of Materials and Informatics

会員企業の声

近年は、社会の課題やニーズにスピーディーな対応をする必要があります。本プログラムに参加させて頂き「情報」を活用することにより、弊社のコアコンピタンスである微粒子制御技術と合わせて、新規商品開発のスピードを上げていきたいと考えております。弊社の実験を主とした知見に加えて、シミュレーションやマテリアルズインフォーマティクスによる微粒子合成の最適化は、技術のブレークスルーをおこすことが出来るのではと考え、非常に期待しております。「物質」と「情報」の両方のスキルをもつ人材は、社会にとって非常に求められている人材と考えており、皆様と会話させて頂きたいと思います。

戸田工業株式会社